



# Cisco Virtual Security Gateway show コマンド

---

この章では、Cisco Virtual Security Gateway (VSG) の **show** コマンドに関する情報を提供します。

# show aaa

認証、許可、アカウントिंग（AAA）に関する情報を表示するには、**show aaa** コマンドを使用します。

**show aaa** [accounting | authentication | authorization | groups | users]

## 構文の説明

<b>accounting</b>	(任意) アカウントिंग設定を表示します。
<b>authentication</b>	(任意) 認証の設定を表示します。
<b>authorization</b>	(任意) 許可の設定を表示します。
<b>groups</b>	(任意) 設定されているグループを表示します。
<b>users</b>	(任意) リモート認証されているユーザを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show aaa** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次の例は、AAA 設定の表示方法を示したものです。

```
vsg# show aaa authentication
      default: local
      console: local
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
password	パスワードを設定します。

# show ac-driver

アプリケーション コンテナの統計情報を表示するには、**show ac-driver** コマンドを使用します。

## show ac-driver statistics

構文の説明	<b>statistics</b>	アプリケーション コンテナの統計情報を表示します。
-------	-------------------	---------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	EXEC グローバル コンフィギュレーション (config)
---------	------------------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ
---------------	---------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン	<p><b>show ac-driver</b> コマンドで次の演算子を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; : 出力をファイルにリダイレクトします。</li> <li>&gt;&gt; : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。</li> <li>  : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。</li> </ul>
------------	---

例	次に、アプリケーション コンテナの統計情報を表示する例を示します。
---	-----------------------------------

```
vsg# show ac-driver statistics
#Packet Statistics:
Rcvd Total                    5510  Buffers in Use                    3188
  Rcvd vPath L2 Pkts          1140  Rcvd vPath IPV4 Pkts              0
  Rcvd VPath Pkts             1140  Sent to VPath                      1140
  Sent to Service-Path        1140  Sent to Control-Path              4370
All Drops                      0
Non-vPath LLC                  0  Non-vPath OUI                      0
Non-vPath type L2              0
Non-vPath IPV4                 0  Non-vPath IPV4 UDP                 0
Service-Path not Initd         0  Service-Path Down                  0
  Rcvd Bad Descriptor          0  Sent to Service-Path Err           0
  Packet Offset Err            0  Send Bad Descriptor                 0
  Send NIC Err                  0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show vsg</b>	Cisco VSG に関する情報を表示します。

# show accounting

アカウントリング ログを表示するには、**show accounting** コマンドを使用します。

**show accounting log** [*start-time year month day time end-time year month day time*]

構文の説明	log	アカウンティング ログを表示します。
	<b>start-time</b>	(任意) 表示が開始するログの日付を表示します。
	<i>year month day time</i>	(任意) 年、日付、および時刻。 <i>year</i> の範囲は 1970 ~ 2030 で、YYYY 形式です。 <i>month</i> の値は、 <b>Jan</b> 、 <b>Feb</b> 、 <b>Mar</b> 、 <b>Apr</b> 、 <b>May</b> 、 <b>Jun</b> 、 <b>Jul</b> 、 <b>Aug</b> 、 <b>Sep</b> 、 <b>Oct</b> 、 <b>Nov</b> 、または <b>Dec</b> です。 <i>day</i> の範囲は 1 ~ 31 で、dd 形式です。 <i>time</i> は HH:MM:SS 形式です。
	<b>end-time</b>	(任意) 表示が終了するログの日付を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**show accounting** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

例 次に、アカウントリング ログを表示する例を示します。

```
vsg# show accounting log
Fri Jan 21 17:19:35 2013:update:171.69.17.61@pts/0:admin:dir (SUCCESS)
Fri Jan 21 17:23:36 2013:update:10.193.73.130@ssh.3115:vsnbetauser:test vnspl
1 (SUCCESS)
Fri Jan 21 17:24:04 2013:update:10.193.73.130@ssh.3120:vsnbetauser:test vnspl
1 (SUCCESS)
Mon Jan 24 12:50:23 2013:start:171.70.216.167@pts/1:admin:
Mon Jan 24 12:52:59 2013:update:171.70.216.167@pts/1:admin:configure (SUCCESS)
Mon Jan 24 12:55:46 2013:stop:171.70.216.167@pts/1:admin:shell terminated gracef
```

## show accounting

```

ully
Wed Feb  2 13:56:54 2013:start:171.70.225.85@pts/2:admin:
Wed Feb  2 14:20:41 2013:stop:171.70.225.85@pts/2:admin:shell terminated because
of telnet closed
Wed Feb  2 14:32:19 2013:start:171.70.225.85@pts/3:admin:
Wed Feb  2 14:39:48 2013:stop:171.70.225.85@pts/3:admin:shell terminated because
of telnet closed
Fri Feb  4 12:16:43 2013:start:171.71.29.84@pts/4:admin:
Fri Feb  4 12:17:11 2013:update:171.71.29.84@pts/4:admin:configure (SUCCESS)
Fri Feb  4 12:18:22 2013:update:171.71.29.84@pts/4:admin:configure terminal ; vn
m-policy-agent (SUCCESS)
Fri Feb  4 12:20:41 2013:stop:171.71.29.84@pts/4:admin:shell terminated because
of telnet closed
Fri Feb  4 14:22:18 2013:start:171.71.29.84@pts/5:admin:
Fri Feb  4 14:23:05 2013:update:171.71.29.84@pts/5:admin:configure (SUCCESS)
Fri Feb  4 15:33:06 2013:stop:171.71.29.84@pts/5:admin:shell terminated because
of telnet closed
Fri Feb  4 17:05:05 2013:start:171.71.29.84@pts/6:admin:
Fri Feb  4 18:25:32 2013:stop:171.71.29.84@pts/6:admin:shell terminated because
of telnet closed
Mon Feb  7 14:12:19 2013:start:171.71.29.84@pts/7:admin:
Mon Feb  7 15:51:10 2013:stop:171.71.29.84@pts/7:admin:shell terminated because
of telnet closed
Mon Feb  7 16:30:10 2013:start:171.71.29.84@pts/8:admin:
Mon Feb  7 19:11:13 2013:stop:171.71.29.84@pts/8:admin:shell terminated because
of telnet closed
Wed Feb  9 14:43:26 2013:start:10.21.84.66@pts/9:admin:
Wed Feb  9 17:43:30 2013:stop:10.21.84.66@pts/9:admin:shell terminated because o
f telnet closed
Wed Feb  9 18:13:10 2013:start:10.21.84.66@pts/10:admin:
Wed Feb  9 18:40:00 2013:update:10.21.84.66@pts/10:admin:configure (SUCCESS)
Wed Feb  9 19:50:37 2013:start:10.21.84.66@pts/11:admin:
Wed Feb  9 20:49:00 2013:stop:10.21.84.66@pts/10:admin:shell terminated because
of telnet closed
Wed Feb  9 22:03:36 2013:stop:10.21.84.66@pts/11:admin:shell terminated because
of telnet closed
Thu Feb 10 18:41:45 2013:start:171.71.29.84@pts/12:admin:
Thu Feb 10 18:50:50 2013:stop:171.71.29.84@pts/12:admin:shell terminated because
of telnet closed
Fri Feb 11 12:09:57 2013:start:171.71.29.84@pts/13:admin:
Fri Feb 11 16:55:21 2013:stop:171.71.29.84@pts/13:admin:shell terminated because
of telnet closed
Fri Feb 11 18:19:49 2013:start:171.71.29.84@pts/14:admin:
Fri Feb 11 18:55:54 2013:stop:171.71.29.84@pts/14:admin:shell terminated because
of telnet closed
Mon Feb 14 13:35:27 2013:start:171.71.29.84@pts/15:admin:

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show logging	ロギング コンフィギュレーションとログ ファイルの内容を表示します。

# show banner

バナーを表示するには、**show banner** コマンドを使用します。

## show banner motd

構文の説明	<b>motd</b>	Message of the Day を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC	グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	<p><b>show banner</b> コマンドで次の演算子を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &gt; : 出力をファイルにリダイレクトします。</li> <li>• &gt;&gt; : 出力をファイルに、アPEND モードでリダイレクトします。</li> <li>•   : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。</li> </ul>	
例	<p>次に、バナーを表示する例を示します。</p> <pre>vsg# show banner motd Nexus 1000V VSG</pre>	
関連コマンド	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>banner</b>	バナー メッセージを作成します。

# show boot

ブート変数を表示するには、**show boot** コマンドを使用します。

**show boot** [auto-copy | module | sup-1 | sup-2 | variables]

## 構文の説明

<b>auto-copy</b>	(任意) 自動コピーがイネーブルか、またはディセーブルかを表示します。
<b>module</b>	(任意) 特定のモジュールまたはすべてのモジュールのブート変数を表示します。
<b>sup-1</b>	(任意) スーパーバイザ 1 の、現在および次のロードのブート変数を表示します。
<b>sup-2</b>	(任意) スーパーバイザ 2 の、現在および次のロードのブート変数を表示します。
<b>variables</b>	(任意) ブート変数のリストを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show boot** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ブート変数を表示する例を示します。

```
vsg# show boot
Current Boot Variables:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/ks.bin
system variable = bootflash:/sys.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/ks.bin
system variable = bootflash:/sys.bin
No module boot variable set
```



```
Boot Variables on next reload:

sup-1
kickstart variable = bootflash:/ks.bin
system variable = bootflash:/sys.bin
sup-2
kickstart variable = bootflash:/ks.bin
system variable = bootflash:/sys.bin
No module boot variable set
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>boot</b>	ブート変数を作成します。

# show cdp

Cisco Discovery Protocol (CDP) の情報を表示するには、**show cdp** コマンドを使用します。

**show cdp {all | entry | global | interface | internal | neighbors | traffic}**

## 構文の説明

<b>all</b>	CDP データベースのすべてのインターフェイスを表示します。
<b>entry</b>	CDP データベース内の CDP エントリを表示します。
<b>global</b>	グローバルな CDP 情報を表示します。
<b>interface</b>	インターフェイスの CDP 情報を表示します。
<b>internal</b>	UUID の専用メモリの統計情報を表示します。
<b>neighbors</b>	CDP ネイバーを表示します。
<b>traffic</b>	CDP トラフィックの統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show cdp** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、CDP データベースのすべてのインターフェイスを表示する例を示します。

```
vsg# show cdp all
Interface Index :83886080
Interface mgmt0:
  Operational status: up
  Config status: enabled
  Refresh time: 60
  Hold time: 180
```

```
Interface Index :117440512
Interface data0:
  Operational status: up
  Config status: enabled
  Refresh time: 60
  Hold time: 180
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>cdp</b>	CDP パラメータを設定します。

# show cli

コマンドライン インターフェイス (CLI) の情報を表示するには、**show cli** コマンドを使用します。

```
show cli {alias | dynamic | history | interface | internal | list | syntax | variables}
```

## 構文の説明

<b>alias</b>	CLI エイリアスが表示されます。
<b>dynamic</b>	動的パラメータの現在の範囲を表示します。
<b>history</b>	CLI コマンドの履歴を表示します。
<b>interface</b>	CLI インターフェイスのテーブルを表示します。
<b>internal</b>	CLI 統計情報を表示します。
<b>list</b>	CLI コマンドの構文を表示します。
<b>syntax</b>	すべてのコマンドの拡張バックス ナウア記法 (EBNF) 構文を表示します。
<b>variables</b>	CLI 変数を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show cli** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、CLI 変数を表示する例を示します。

```
vsg# show cli variables
VSH Variable List
-----
SWITCHNAME="vsg"
TIMESTAMP="2013-02-14-17.33.37"
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
cli var	CLI 変数を定義します。

# show clock

クロックを表示するには、**show clock** コマンドを使用します。

**show clock [detail]**

<b>構文の説明</b>	<b>detail</b> (任意) 日付、時間、年を表示します。
--------------	-----------------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	EXEC グローバル コンフィギュレーション (config)
----------------	------------------------------------

<b>サポートされるユーザロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ
----------------------	---------------------------

<b>コマンド履歴</b>	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

<b>使用上のガイドライン</b>	<p><b>show clock</b> コマンドで次の演算子を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; : 出力をファイルにリダイレクトします。</li> <li>&gt;&gt; : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。</li> <li>  : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。</li> </ul>
-------------------	---

<b>例</b>	<p>次に、クロックを表示する例を示します。</p> <pre>vsg# show clock detail Mon Feb 14 17:47:44 UTC 2013</pre>
----------	---

<b>関連コマンド</b>	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>clock</b>	システムクロックを管理します。

# show copyright

著作権情報を表示するには、**show copyright** コマンドを使用します。

## show copyright

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show copyright** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、著作権情報を表示する例を示します。

```
vsg# show copyright
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Copyright (c) 2002-2013, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php
```

■ show copyright

## 関連コマンド

コマンド	説明
show version	ビルド情報を表示します。
build-info	



# show cores

すべてのコア ダンプを表示するには、**show cores** コマンドを使用します。

**show cores**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show cores** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、すべてのコア ダンプを表示する例を示します。

```
vsg# show cores
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show event-log	イベント ログを表示します。

# show debug

デバッグ フラグを表示するには、**show debug** コマンドを使用します。

```
show debug [aaa | arp | ascii-cfg | bootvar | capability | cdp | cert-enroll | clis | core | ethpm | evmc
| fm | fs-daemon | igmp | im | ip | ipconf | ipv6 | kadb | klm-rswem | logfile | module | monitor
| msp | mvsh | ntp | platform | plugin | port-channel | redundancy | res_mgr | scheduler |
security | system | tcap | ttyd | vdc | vlan | vnm | vnm-pa | vsh | vshd | xml]
```

## 構文の説明

<b>aaa</b>	(任意) AAA デバッグ フラグを表示します。
<b>arp</b>	(任意) ARP デバッグ フラグを表示します。
<b>ascii-cfg</b>	(任意) ASCII-CFG デバッグ フラグを表示します。
<b>bootvar</b>	(任意) ブート変数のデバッグ フラグを表示します。
<b>capability</b>	(任意) 機能のデバッグ フラグを表示します。
<b>cdp</b>	(任意) CDP デバッグ フラグを表示します。
<b>cert-enroll</b>	(任意) 証明書登録のデバッグ フラグを表示します。
<b>clis</b>	(任意) CLI デバッグ フラグを表示します。
<b>core</b>	(任意) コア デーモンデバッグ フラグを表示します。
<b>ethpm</b>	(任意) ETHPM デバッグ フラグを表示します。
<b>evmc</b>	(任意) EVMC デバッグ フラグを表示します。
<b>fm</b>	(任意) 機能マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>fs-daemon</b>	(任意) FS デーモン デバッグ フラグを表示します。
<b>igmp</b>	(任意) PIM デバッグ フラグを表示します。
<b>im</b>	(任意) IM デバッグ フラグを表示します。
<b>ip</b>	(任意) IP の情報を表示します。
<b>ipconf</b>	(任意) IPCONF デバッグ フラグを表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 情報を表示します。
<b>kadb</b>	(任意) カーネル ADB デバッグ フラグを表示します。
<b>klm-rwsem</b>	(任意) RWSEM ドライバデバッグ フラグを表示します。
<b>logfile</b>	(任意) ログ ファイルを表示します。
<b>module</b>	(任意) モジュールのデバッグ フラグを表示します。
<b>monitor</b>	(任意) イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) のデバッグ フラグが表示されます。
<b>msp</b>	(任意) MSP デバッグ フラグを表示します。
<b>mvsh</b>	(任意) MVSH デバッグ フラグを表示します。
<b>ntp</b>	(任意) NTP デバッグ フラグを表示します。
<b>platform</b>	(任意) プラットフォーム マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>plugin</b>	(任意) プラグインのデバッグ フラグを表示します。
<b>port-channel</b>	(任意) ポート チャネルのデバッグ フラグを表示します。
<b>redundancy</b>	(任意) 冗長性ドライバデバッグ フラグを表示します。
<b>res_mgr</b>	(任意) リソース マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>scheduler</b>	(任意) スケジューラのデバッグ フラグを表示します。
<b>security</b>	(任意) セキュリティのデバッグ フラグを表示します。
<b>system</b>	(任意) システムのデバッグ フラグを表示します。
<b>tcap</b>	(任意) 例外ロガーのデバッグ フラグを表示します。

<b>ttyd</b>	(任意) TTYD デバッグ フラグを表示します。
<b>vdc</b>	(任意) VDC マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>vlan</b>	(任意) VLAN マネージャのデバッグ フラグを表示します。
<b>vmm</b>	(任意) VMM デバッグ フラグを表示します。
<b>vnm-pa</b>	(任意) VNM PA デバッグ フラグを表示します。
<b>vsh</b>	(任意) VSH デバッグ フラグを表示します。
<b>vshd</b>	(任意) VSHD デバッグ フラグを表示します。
<b>xml</b>	(任意) XML デバッグ フラグを表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** `show debug` コマンドで次の演算子を使用できます。

- `>`: 出力をファイルにリダイレクトします。
- `>>`: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- `|`: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する `show` コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

**例** 次に、AAA デバッグ フラグを表示する例を示します。  
vsg# `show debug aaa`

関連コマンド	コマンド	説明
	<code>show debug-filter</code>	デバッグ フィルタを表示します。

# show debug-filter

デバッグ フィルタを表示するには、**show debug-filter** コマンドを使用します。

```
show debug-filter {all | arp | igmp | ip | ipv6}
```

## 構文の説明

<b>all</b>	すべてのデバッグ フィルタを表示します。
<b>arp</b>	アドレス解決プロトコル (ARP) デバッグ フィルタを表示します。
<b>igmp</b>	インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) デバッグ フィルタを表示します。
<b>ip</b>	IP 情報を表示します。
<b>ipv6</b>	IPv6 情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show debug-filter** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、デバッグ フィルタを表示する例を示します。

```
vsg# show debug-filter all
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show debug</b>	デバッグ フラグを表示します。

# show environment

システム環境に関する情報を表示するには、**show environment** コマンドを使用します。

**show environment [clock | fan | power | temperature]**

## 構文の説明

<b>clock</b>	(任意) クロック情報を表示します。
<b>fan</b>	(任意) ファン情報を表示します。
<b>power</b>	(任意) 電力容量と配電の情報を表示します。
<b>temperature</b>	(任意) 温度センサー情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show environment** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、システム ファンに関する情報を表示する例を示します。

```
vsg# show environment fan
Fan:
-----
Fan           Model           Hw           Status
-----
ChassisFan1   0.0             0.0         Ok
ChassisFan2   0.0             0.0         None
Fan Air Filter : NotSupported
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show clock</b>	システム クロックを表示します。

# show event manager internal

イベント マネージャ イベントを表示するには、**show event manager internal** コマンドを使用します。

**show event manager internal [evmc | mvsh | errors]**

## 構文の説明

<b>evmc</b>	(任意) イベント マネージャ イベントを表示します。
<b>mvsh</b>	(任意) メモリの割り当てに関する統計情報を表示します。
<b>errors</b>	(任意) エラー ログを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show event manager** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、イベント マネージャ エラーを表示する例を示します。

```
vsg# show event manager internal errors
1) Event:E_DEBUG, length:253, at 232142 usecs after Wed Feb 16 15:20:07 2013

    [100] fu_sdb_handle_update: validation fail,
    fu_is_state_active = 1,
    fu_is_sync_pss_to_standby_enabled = 0,
    mts_sync_event_get(mts_msg) = 0,
    create_del) = 0

2) Event:E_DEBUG, length:43, at 232138 usecs after Wed Feb 16 15:20:07 2013
    [100] fu_sdb_handle_update: validation fail

3) Event:E_DEBUG, length:55, at 232136 usecs after Wed Feb 16 15:20:07 2013
```

```
[100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Set of checks failed

4) Event:E_DEBUG, length:58, at 971337 usecs after Wed Feb 16 15:20:02 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

5) Event:E_DEBUG, length:58, at 971525 usecs after Wed Feb 16 15:19:57 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

6) Event:E_DEBUG, length:58, at 971719 usecs after Wed Feb 16 15:19:52 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

7) Event:E_DEBUG, length:58, at 971918 usecs after Wed Feb 16 15:19:47 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

8) Event:E_DEBUG, length:58, at 971103 usecs after Wed Feb 16 15:19:42 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

9) Event:E_DEBUG, length:58, at 971307 usecs after Wed Feb 16 15:19:37 2013
   [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

10) Event:E_DEBUG, length:58, at 971524 usecs after Wed Feb 16 15:19:32 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

11) Event:E_DEBUG, length:58, at 971693 usecs after Wed Feb 16 15:19:27 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

12) Event:E_DEBUG, length:58, at 971886 usecs after Wed Feb 16 15:19:22 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

13) Event:E_DEBUG, length:58, at 971094 usecs after Wed Feb 16 15:19:17 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

14) Event:E_DEBUG, length:58, at 971275 usecs after Wed Feb 16 15:19:12 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

15) Event:E_DEBUG, length:58, at 971494 usecs after Wed Feb 16 15:19:07 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

16) Event:E_DEBUG, length:58, at 971702 usecs after Wed Feb 16 15:19:02 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

17) Event:E_DEBUG, length:58, at 971921 usecs after Wed Feb 16 15:18:57 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

18) Event:E_DEBUG, length:58, at 971218 usecs after Wed Feb 16 15:18:52 2013
    [100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg

19) Event:E_DEBUG, length:58, at 971289 usecs after Wed Feb 16 15:18:47 2013
```

## ■ show event manager internal

```
[100] fu_sync_pss_to_standby_apply:Input event not MTS msg
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show event-log</b>	イベント ログを表示します。



# show event-log

イベント ログを表示するには、**show event-log** コマンドを使用します。

## show event-log all

構文の説明	<b>all</b>	イベント ログを表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC	グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	<p><b>show event-log</b> コマンドで次の演算子を使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• &gt; : 出力をファイルにリダイレクトします。</li> <li>• &gt;&gt; : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。</li> <li>•   : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。</li> </ul> <p>データの長いリストを表示する <b>show</b> コマンドを入力したときに、<b>Ctrl</b> キーを押した状態で <b>C</b> キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。</p>	
例	<p>次に、イベント ログを表示する例を示します。</p> <pre>vsg# show event-log all</pre>	
関連コマンド	<b>コマンド</b>	<b>説明</b>
	<b>show event manager</b> <b>internal</b>	イベント マネージャを表示します。

# show feature

システム機能を表示するには、**show feature** コマンドを使用します。

## show feature

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show feature** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、システム情報を表示する例を示します。

```
vsg# show feature
Feature Name          Instance  State
-----
dhcp-snooping        1         disabled
http-server           1         enabled
lACP                  1         disabled
netflow               1         disabled
port-profile-roles   1         disabled
private-vlan          1         disabled
sshServer             1         enabled
tacacs                1         enabled
telnetServer          1         enabled
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show http-server</code>	HTTP サーバのステータスを表示します。

# show file

ディレクトリの存在を確認するには、**show file** コマンドを使用します。

```
show file {bootflash: | debug: | modflash: | volatile:}
```

## 構文の説明

<b>bootflash:</b>	ブートフラッシュ ディレクトリを表示します。
<b>debug:</b>	デバッグ ディレクトリを表示します。
<b>modflash:</b>	modflash ディレクトリを表示します。
<b>volatile:</b>	揮発性ディレクトリを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show file** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ブートフラッシュ ディレクトリの存在を確認する例を示します。

```
vsg# show file bootflash:
/bin/showfile: /bootflash/: Is a directory
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>pwd</b>	現在のディレクトリを表示します。

# show hardware

ハードウェア統計情報を表示するには、**show hardware** コマンドを使用します。

**show hardware [capacity | internal | stats]**

構文の説明	オプション	説明
	<b>capacity</b>	(任意) 使用レベルを表示します。
	<b>internal</b>	(任意) 内部ハードウェア情報を表示します。
	<b>stats</b>	(任意) ハードウェア統計情報を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show hardware** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例** 次に、管理 0 ポート統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show hardware internal mgmt0 stats
eth1    Link encap:Ethernet HWaddr 00:50:56:BB:00:38
        inet addr:10.193.73.138 Bcast:10.193.79.255 Mask:255.255.248.0
        UP BROADCAST RUNNING MULTICAST MTU:1500 Metric:1
        RX packets:1193889201 errors:0 dropped:0 overruns:0 frame:0
        TX packets:1298817 errors:0 dropped:0 overruns:0 carrier:0
        collisions:0 txqueuelen:1000
        RX bytes:162479674502 (151.3 GiB) TX bytes:192218320 (183.3 MiB)
```

■ show hardware

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show interface</code>	インターフェイスのステータスと内容を表示します。

# show hostname

ホスト名を表示するには、**show hostname** コマンドを使用します。

**show hostname**

## 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show hostname** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ホスト名を表示する例を示します。

```
vsg# show hostname
VSG129-2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show hosts</b>	ホストを表示します。

# show hosts

ホストを表示するには、**show hosts** コマンドを使用します。

## show hosts

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show hosts** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、ホストを表示する例を示します。

```
vsg# show hosts
DNS lookup enabled
Name/address lookup uses domain service
Name servers are 255.255.255.255
Host Address
tst1 209.165.200.227
tst2 209.165.200.229
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
show hostname	ホスト名を表示します。



# show http-server

HTTP サーバの状態を表示するには、**show http-server** コマンドを使用します。

## show http-server

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show http-server** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、HTTP サーバのステータスを表示する例を示します。

```
vsg# show http-server
http-server not enabled
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
show feature	システム機能を表示します。

# show incompatibility

イメージの非互換性を表示するには、**show incompatibility** コマンドを使用します。

```
show incompatibility system {bootflash: | volatile:}
```

構文の説明	system	ディレクトリを表示します。
	<b>bootflash:</b>	ブートフラッシュ ディレクトリを表示します。
	<b>volatile:</b>	揮発性ディレクトリを表示します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show incompatibility** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例 次に、イメージの非互換性を表示する例を示します。

```
vsg# show incompatibility system bootflash:
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show version image</b>	イメージのソフトウェア バージョンを表示します。

# show inspect ftp statistics

インスペクションのファイル転送プロトコル (FTP) の統計情報を表示するには、**show inspect ftp statistics** コマンドを使用します。

**show inspect ftp statistics [svs-domain]**

<b>構文の説明</b>	<b>svs-domain</b> (任意) SVS ドメイン ID 番号を表示します。
--------------	--

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	EXEC グローバル コンフィギュレーション (config)
----------------	------------------------------------

<b>サポートされるユーザロール</b>	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ
----------------------	---------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show inspect ftp statistics** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例** 次に、インスペクション FTP の統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show inspect ftp statistics
Input packets          1000
Dropped packets       6
Reset-drop packets    0
New connections       1
Deleted connections   0
IPC errors             0
IPC allocation errors 0
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ip tftp</b>	TFTP クライアント情報を表示します。

# show install all

インストール ログを表示するには、**show install all** コマンドを使用します。

**show install all {failed-standby | failure-reason | impact | status}**

## 構文の説明

<b>failed-standby</b>	スタンバイでのインストールの失敗を報告するログを表示します。
<b>failure-reason</b>	失敗したインストールの理由を報告するログを表示します。
<b>impact</b>	インストールの影響を報告するログを表示します。
<b>status</b>	現在のインストール状態を報告するログを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show install all** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、現在のインストール状態を報告するログを表示する例を示します。

```
vsg# show install all status
No installation has taken place since the last reboot.
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show version image</b>	イメージのソフトウェア バージョンを表示します。

# show interface

インターフェイスに関する情報を表示するには、**show interface** コマンドを使用します。

```
show interface [brief | capabilities | counters | data | description | ethernet | loopback |
mac-address | mgmt | port-channel | status | switchport | transceiver | trunk]
```

## 構文の説明

<b>brief</b>	(任意) インターフェイスに関する要約情報を表示します。
<b>capabilities</b>	(任意) インターフェイス機能に関する情報を表示します。
<b>counters</b>	(任意) インターフェイス カウンタを表示します。
<b>data</b>	(任意) データ インターフェイスを表示します。
<b>description</b>	(任意) インターフェイスの説明を表示します。
<b>ethernet</b>	(任意) イーサネット IEEE 802.3z インターフェイスを表示します。
<b>loopback</b>	(任意) ループバック インターフェイスを表示します。
<b>mac-address</b>	(任意) インターフェイスの MAC アドレスが表示されます。
<b>mgmt</b>	(任意) 管理インターフェイスを表示します。
<b>port-channel</b>	(任意) ポート チャネル インターフェイスを表示します。
<b>status</b>	(任意) インターフェイスのライン ステータスを表示します。
<b>switchport</b>	(任意) スイッチポート インターフェイスを表示します。
<b>transceiver</b>	(任意) インターフェイスのトランシーバ情報を表示します。
<b>trunk</b>	(任意) トランク インターフェイス情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## ■ show interface

## 使用上のガイドライン

**show interface** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、管理 0 インターフェイスに関する情報を表示する例を示します。

```
vsg# show interface mgmt 0
mgmt0 is up
Hardware: Ethernet, address: 0050.56bb.0038 (bia 0050.56bb.0038)
Internet Address is 10.193.73.138/21
MTU 1500 bytes, BW 1000000 Kbit, DLY 10 usec,
    reliability 255/255, txload 1/255, rxload 1/255
Encapsulation ARPA
full-duplex, 10 Gb/s
Auto-Negotiation is turned on
1 minute input rate 44136 bits/sec, 62 packets/sec
1 minute output rate 1808 bits/sec, 1 packets/sec
Rx
  755797571 input packets 131701 unicast packets 2575417 multicast packets
  753090453 broadcast packets 107614075553 bytes
Tx
  1240518 output packets 1144680 unicast packets 43411 multicast packets
  52427 broadcast packets 203763544 bytes
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ip interface</b>	IP インターフェイス情報を表示します。

# show ip

IP 統計情報を表示するには、**show ip** コマンドを使用します。

```
show ip {adjacency | arp | client | igmp | interface | internal | logging | netstack | process | route
| static-route | tftp | traffic}
```

## 構文の説明

<b>adjacency</b>	IP 隣接関係テーブルを表示します。
<b>arp</b>	IP アドレス解決プロトコル (ARP) テーブルと統計情報を表示します。
<b>client</b>	IP プロセスに登録されているクライアントを表示します。
<b>igmp</b>	IP アドレスのインターネット グループ管理プロトコル (IGMP) のステータスおよび設定を表示します。
<b>interface</b>	IP インターフェイス情報を表示します。
<b>internal</b>	内部 IP 情報を表示します。
<b>logging</b>	IP ポリシー ログイング テーブルを表示します。
<b>netstack</b>	netstack ローカル キャッシュを表示します。
<b>process</b>	グローバル IP 情報を表示します。
<b>route</b>	ルーティング情報を表示します。
<b>static-route</b>	設定されているスタティック ルートを表示します。
<b>tftp</b>	簡易ファイル転送プロトコル (TFTP) のクライアント情報を表示します。
<b>traffic</b>	IP ソフトウェア処理トラフィック統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン**

**show ip** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例**

次に、IP トラフィック統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show ip traffic
IP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission and reception:
  Packets received: 647601245, sent: 1145486, consumed: 0,
  Forwarded, unicast: 1099007, multicast: 0, Label: 0
Opts:
  end: 0, nop: 0, basic security: 0, loose source route: 0
  timestamp: 0, record route: 0
  strict source route: 0, alert: 4,
  other: 0
Errors:
  Bad checksum: 0, packet too small: 0, bad version: 0,
  Bad header length: 0, bad packet length: 0, bad destination: 0,
  Bad ttl: 0, could not forward: 645386546, no buffer dropped: 0,
  Bad encapsulation: 20, no route: 377, non-existent protocol: 0
  MBUF pull up fail: 0
Fragmentation/reassembly:
  Fragments received: 0, fragments sent: 0, fragments created: 0,
  Fragments dropped: 0, packets with DF: 0, packets reassembled: 0,
  Fragments timed out: 0
ICMP Software Processed Traffic Statistics
-----
Transmission:
  Redirect: 30725, unreachable: 0, echo request: 0, echo reply: 0,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0
Reception:
  Redirect: 0, unreachable: 0, echo request: 0, echo reply: 0,
  Mask request: 0, mask reply: 0, info request: 0, info reply: 0,
  Parameter problem: 0, source quench: 0, timestamp: 0,
  Timestamp response: 0, time exceeded: 0,
  Irdp solicitation: 0, irdp advertisement: 0,
  Format error: 0, checksum error: 0
Statistics last reset: never
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show ipv6</b>	IPv6 情報を表示します。



# show ipv6

IPv6 統計を表示するには、**show ipv6** コマンドを使用します。

```
show ipv6 {adjacency | icmp | mld | nd | neighbor | route | routers}
```

## 構文の説明

<b>adjacency</b>	IPv6 隣接関係テーブルを表示します。
<b>icmp</b>	ICMPv6 情報を表示します。
<b>mld</b>	マルチキャスト リスナー検出情報を表示します。
<b>nd</b>	ネイバー探索インターフェイス情報を表示します。
<b>neighbor</b>	IPv6 ネイバー情報を表示します。
<b>route</b>	IPv6 ルーティング テーブルを表示します。
<b>routers</b>	ネイバーのルーティング情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザーロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show ipv6** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## ■ show ipv6

**例**

次に、IPv6 隣接関係テーブルを表示する例を示します。

```
vsg# show ipv6 adjacency summary
IPv6 AM Table - Adjacency Summary

Static      : 2
Dynamic     : 03
Others      : 0
Total       : 5
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show ip	IP 情報を表示します。

# show kernel internal

カーネルの情報を表示するには、**show kernel** コマンドを使用します。

```
show kernel internal {aipc | cpuhogmon | ide-statistics | malloc-stats | meminfo | messages |
skb-stats | softnetstat}
```

## 構文の説明

<b>aipc</b>	カーネル AIPC 情報を表示します。
<b>cpuhogmon</b>	CPU 占有監視を表示します。
<b>ide-statistics</b>	IDE の統計情報を表示します。
<b>malloc-stats</b>	malloc の統計情報を表示します。
<b>meminfo</b>	カーネル メモリ使用量情報を表示します。
<b>messages</b>	カーネルのメッセージを表示します。
<b>skb-stats</b>	SK バッファ割り当ての統計情報を表示します。
<b>softnetstat</b>	カーネルのネットワーク キュー情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show kernel internal** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、メモリに関する情報を表示する例を示します。

```
vsg# show kernel internal meminfo
MemTotal:      1944668 kB
MemFree:       909024 kB
Buffers:       70880 kB
Cached:        397144 kB
RAMCached:     351732 kB
Allowed:       486167 Pages
Free:          227256 Pages
Available:     257029 Pages
```

## ■ show kernel internal

```

SwapCached:          0 kB
Active:              567632 kB
Inactive:            329852 kB
HighTotal:           1179584 kB
HighFree:             334080 kB
LowTotal:             765084 kB
LowFree:              574944 kB
SwapTotal:            0 kB
SwapFree:             0 kB
Dirty:               0 kB
Writeback:           0 kB
Mapped:              548996 kB
Slab:                 29756 kB
CommitLimit:         972332 kB
Committed_AS:        943536 kB
PageTables:          4064 kB
VmallocTotal:        114680 kB
VmallocUsed:          87644 kB
VmallocChunk:        26940 kB

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show system internal kernel</b>	カーネルの情報を表示します。

# show line

コマンドライン コンフィギュレーションを表示するには、**show line** コマンドを使用します。

**show line [com1 | console]**

構文の説明	com1	(任意) 補助コマンドライン コンフィギュレーションを表示します。
	console	(任意) コンソールのコマンドライン コンフィギュレーションを表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show line** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例 次に、コマンドライン コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
vsg# show line
line Console:
  Speed:          9600 baud
  Databits:       8 bits per byte
  Stopbits:       1 bit(s)
  Parity:         none
  Modem In:       Disable
  Modem Init-String -
                  default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015

line Aux:
  Speed:          9600 baud
  Databits:       8 bits per byte
  Stopbits:       1 bit(s)
  Parity:         none
  Modem In:       Disable
  Modem Init-String -
```

## ■ show line

```
default : ATE0Q1&D2&C1S0=1\015  
Hardware Flowcontrol: ON
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
cli	コマンドラインを設定します。

# show logging

ロギング情報を表示するには、**show logging** コマンドを使用します。

```
show logging [console | info | internal | last | level | logfile | module | monitor | pending |
pending-diff | server | session | status | timestamp]
```

## 構文の説明

<b>console</b>	(任意) コンソール ロギング設定を表示します。
<b>info</b>	(任意) ロギング設定を表示します。
<b>internal</b>	(任意) syslog 情報を表示します。
<b>last</b>	(任意) ログの最後の数行を表示します。
<b>level</b>	(任意) ファシリティ ロギング設定を表示します。
<b>logfile</b>	(任意) ログ ファイルを表示します。
<b>module</b>	(任意) モジュール ロギング設定を表示します。
<b>monitor</b>	(任意) モニタ ロギング設定を表示します。
<b>pending</b>	(任意) サーバ アドレスの保留中の設定を表示します。
<b>pending-diff</b>	(任意) サーバ アドレスの保留中の設定を表示します。
<b>server</b>	(任意) サーバのロギング設定を表示します。
<b>session</b>	(任意) ロギングセッションの状態を表示します。
<b>status</b>	(任意) ロギング ステータスを表示します。
<b>timestamp</b>	(任意) ロギング タイム スタンプの設定を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show logging** コマンドで次の演算子を使用できます。

- **>** : 出力をファイルにリダイレクトします。
- **>>** : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- **|** : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、ログ ファイルを表示する例を示します。

```
VSG129-2# show logging logfile start-seqn 1
Last Log cleared/wrapped time is : None
1: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-2-SYSTEM_MSG: Starting kernel... - kernel
2: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: PCI: Cannot allocate resource region 1 of device 0000:00:0f.0 - kernel
3: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: sda: assuming drive cache: write through - kernel
4: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: sda: assuming drive cache: write through - kernel
5: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: CMOS: Module initialized - kernel
6: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-1-SYSTEM_MSG: calling register_stun_set_domain_id() - kernel
7: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-1-SYSTEM_MSG: register_stun_set_domain_id() - kernel
8: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-1-SYSTEM_MSG: Successfully registered SNAP client for SNAP=0x00000c013200 0xf1117360 - kernel
9: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-1-SYSTEM_MSG: STUN : Successfully created Socket - kernel
10: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: redun_platform_ioctl : Entered - kernel
11: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: redun_platform_ioctl : SW version is set 5.2.1VSG1(4.1) - kernel
12: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: - dhcpd
13: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: No subnet declaration for ftp0 (127.2.1.1). - dhcpd
14: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: ** Ignoring requests on ftp0. If this is not what - dhcpd
15: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: you want, please write a subnet declaration - dhcpd
16: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: in your dhcpd.conf file for the network segment - dhcpd
17: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: to which interface ftp0 is attached. ** - dhcpd
18: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: - dhcpd
19: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: Not configured to listen on any interfaces! - dhcpd
20: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files begin - clis
21: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: redun_platform_ioctl : Entered - kernel
22: 2013 Jan 21 17:17:21 VSG129-2 %KERN-3-SYSTEM_MSG: redun_platform_ioctl : Host name is set VSG129-2 - kernel
23: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: - dhcpd
24: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: No subnet declaration for ftp0 (127.2.1.1). - dhcpd
25: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: ** Ignoring requests on ftp0. If this is not what - dhcpd
26: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: you want, please write a subnet declaration - dhcpd
27: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: in your dhcpd.conf file for the network segment - dhcpd
28: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: to which interface ftp0 is attached. ** - dhcpd
29: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: - dhcpd
30: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %LOCAL7-3-SYSTEM_MSG: Not configured to listen on any interfaces! - dhcpd
31: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %MODULE-5-ACTIVE_SUP_OK: Supervisor 1 is active (serial: T5056BB0038)
32: 2013 Jan 21 17:17:23 VSG129-2 %PLATFORM-5-MOD_STATUS: Module 1 current-status is MOD_STATUS_ONLINE/OK
33: 2013 Jan 21 17:17:26 VSG129-2 %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: loading cmd files en
```



```

d - clis
34: 2013 Jan 21 17:17:26 VSG129-2 %USER-2-SYSTEM_MSG: CLIS: init begin - clis
35: 2013 Jan 21 17:17:44 VSG129-2 %USER-2-SYSTEM_MSG: Invalid feature name eth-p
ort-sec - clis
36: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %POLICY_ENGINE-5-POLICY_ACTIVATE_EVENT: Policy
pl is activated by profile spl
37: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %IM-5-IM_INTF_STATE: mgmt0 is DOWN in vdc 1
38: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %IM-5-IM_INTF_STATE: mgmt0 is UP in vdc 1
39: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %IM-5-IM_INTF_STATE: data0 is DOWN in vdc 1
40: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %IM-5-IM_INTF_STATE: data0 is UP in vdc 1
41: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %POLICY_ENGINE-5-POLICY_COMMIT_EVENT: Commit o
peration SUCCESSFUL
42: 2013 Jan 21 17:18:00 VSG129-2 %VDC_MGR-2-VDC_ONLINE: vdc 1 has come online
43: 2013 Jan 24 12:53:47 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.70.216.167@pts/1
44: 2013 Feb 7 16:30:00 VSG129-2 %AUTHPRIV-3-SYSTEM_MSG: pam_aaa:Authentication
failed for user admin from 171.71.29.84 - sshd[7496]
45: 2013 Feb 9 18:41:38 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 10.21.84.66@pts/10
46: 2013 Feb 14 14:15:31 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/15
47: 2013 Feb 14 15:58:21 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/15
48: 2013 Feb 14 16:34:25 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/15
49: 2013 Feb 14 18:38:57 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/16
50: 2013 Feb 17 20:18:55 VSG129-2 %AUTHPRIV-3-SYSTEM_MSG: pam_aaa:Authentication
failed for user admin from 10.21.144.180 - sshd[23785]
51: 2013 Feb 18 15:14:03 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/22
52: 2013 Feb 21 13:16:43 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/26
53: 2013 Feb 21 14:08:23 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/26
54: 2013 Feb 22 11:47:27 VSG129-2 %VSHD-5-VSHD_SYSLOG_CONFIG_I: Configured from
vty by admin on 171.71.29.84@pts/28

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show event-log	イベント ログを表示します。

# show ntp

ネットワーク タイム プロトコル (NTP) の情報を表示するには、**show ntp** コマンドを使用します。

**show ntp [internal | peer-status | peers | rts-update | source | statistics | timestamp-status]**

構文の説明		
	<b>internal</b>	(任意) 内部 NTP 情報を表示します。
	<b>peer-status</b>	(任意) すべてのピアの状態を表示します。
	<b>peers</b>	(任意) すべてのピアを表示します。
	<b>rts-update</b>	(任意) RTS の状態を表示します。
	<b>source</b>	(任意) 送信元 IP アドレスを表示します。
	<b>statistics</b>	(任意) NTP 統計情報を表示します。
	<b>timestamp-status</b>	(任意) タイムスタンプチェックの状態を表示します。

**デフォルト** なし

**コマンドモード** EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

**サポートされるユーザロール** ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show ntp** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例** 次に、ローカル NTP の統計情報を表示する例を示します。

```
VSG129-2# show ntp statistics local
system uptime:          2669747
time since reset:       2669747
old version packets:    0
new version packets:    10
unknown version number: 0
bad packet format:      0
packets processed:      0
bad authentication:     0
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show clock	時間を表示します。

# show password

パスワードの強度の確認をイネーブルにするには、**show password** コマンドを使用します。

## show password strength-check

構文の説明	<b>strength-check</b>	パスワードの強度を表示します。
-------	-----------------------	-----------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンドモード	EXEC グローバル コンフィギュレーション (config)
---------	------------------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ
---------------	---------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show password** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例** 次に、パスワードの強度の確認をイネーブルにする例を示します。

```
vsg# show password strength-check
Password strength check enabled
vsg#
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show aaa</b>	認証および許可情報を表示します。

# show platform internal

プラットフォーム マネージャ情報を表示するには、**show platform internal** コマンドを使用します。

**show platform {all | errors | event-history | info | mem-stats | msgs}**

## 構文の説明

<b>all</b>	プラットフォーム情報を表示します。
<b>errors</b>	プラットフォーム マネージャのエラー ログを表示します。
<b>event-history</b>	プラットフォーム マネージャのイベント履歴を表示します。
<b>info</b>	プラットフォーム マネージャの内部情報を表示します。
<b>mem-stats</b>	プラットフォーム マネージャ メモリの割り当てに関する統計情報を表示します。
<b>msgs</b>	プラットフォーム マネージャ メッセージ ログを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show platform** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、プラットフォーム マネージャ メモリ統計情報を表示する例を示します。

```
VSG129-2# show platform internal mem-stats
Inside pfm_cli_show_memstats
sending mts msg 18
```

```
Private Mem stats for UUID : Malloc track Library(103) Max types: 5
```

```
-----
Curr alloc: 414 Curr alloc bytes: 19803(19k)
```

## ■ show platform internal

```

Private Mem stats for UUID : Non mtrack users(0) Max types: 81
-----
Curr alloc: 149 Curr alloc bytes: 1322797(1291k)

Private Mem stats for UUID : libsdwrap(115) Max types: 22
-----
Curr alloc: 11 Curr alloc bytes: 1448(1k)

Private Mem stats for UUID : Associative_db library(175) Max types: 14
-----
Curr alloc: 6 Curr alloc bytes: 200(0k)

Private Mem stats for UUID : Event sequence library(158) Max types: 4
-----
Curr alloc: 0 Curr alloc bytes: 0(0k)

Private Mem stats for UUID : Associative_db utils library(174) Max types: 4
-----
Curr alloc: 0 Curr alloc bytes: 0(0k)

Private Mem stats for UUID : libfsrv(404) Max types: 11
-----
Curr alloc: 0 Curr alloc bytes: 0(0k)

Private Mem stats for UUID : FSM Utils(53) Max types: 68
-----
Curr alloc: 136 Curr alloc bytes: 7760(7k)

Private Mem stats for UUID : Platform Manager(24) Max types: 25
-----
Curr alloc: 0 Curr alloc bytes: 0(0k)

Curr alloc: 716 Curr alloc bytes: 1352008 (1320k)

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show system internal mem-alerts-log</b>	メモリ アラート ログを表示します。

# show policy-engine

ポリシー エンジンの統計情報を表示するには、**show policy-engine** コマンドを使用します。

```
show policy-engine {policy-name | stats}
```

構文の説明	説明
<i>policy-name</i>	ポリシー エンジンの名前。
<b>stats</b>	ポリシー エンジンの統計情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show policy-engine** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例 次に、ポリシー エンジンの統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show policy-engine stats

Policy Match Stats:

p1          :      30378
r1          :      30378 (Permit)
NOT_APPLICABLE :      0 (Drop)
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>policy</b>	ポリシーを設定します。

# show processes

プロセスを表示するには、**show processes** コマンドを使用します。

**show processes [cpu | log | memory | vdc]**

## 構文の説明

<b>cpu</b>	(任意) CPU プロセスに関する情報を表示します。
<b>log</b>	(任意) プロセス ログに関する情報を表示します。
<b>memory</b>	(任意) メモリのプロセスに関する情報を表示します。
<b>vdc</b>	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) プロセスに関する情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show processes** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

## 例

次に、メモリのプロセスに関する情報を表示する例を示します。

```
vsg(config)# show processes memory
```

PID	MemAlloc	MemLimit	MemUsed	StackBase/Ptr	Process
1	147456	0	1441792	bffffe60/bffff950	init
2	0	0	0	0/0	ksoftirqd/0
3	0	0	0	0/0	desched/0
4	0	0	0	0/0	events/0
5	0	0	0	0/0	khelper
10	0	0	0	0/0	kthread
18	0	0	0	0/0	kblockd/0



```

35          0 0          0          0/0          khubd
188         0 0          0          0/0          pdflush
189         0 0          0          0/0          pdflush
190         0 0          0          0/0          kswapd0
191         0 0          0          0/0          aio/0
776         0 0          0          0/0          kseriod
823         0 0          0          0/0          kide/0
833         0 0          0          0/0          ata/0
837         0 0          0          0/0          scsi_eh_0
1175        0 0          0          0/0          kjournald
1180        0 0          0          0/0          kjournald
1740        0 0          0          0/0          kjournald
1747        0 0          0          0/0          kjournald
1976       155648 0          1536000     bffffdb0/bffffcb0 portmap
1989        0 0          0          0/0          nfsd
1990        0 0          0          0/0          nfsd
1991        0 0          0          0/0          nfsd
1992        0 0          0          0/0          nfsd
1993        0 0          0          0/0          nfsd
1994        0 0          0          0/0          nfsd
1995        0 0          0          0/0          nfsd
1996        0 0          0          0/0          nfsd
1997        0 0          0          0/0          lockd
1998        0 0          0          0/0          rpciod
2003       180224 0          1642496     bffffd80/bffffb60 rpc.mountd
2009       159744 0          1601536     bffffda0/bffffb10 rpc.statd
2036       2551808 0          15540224    bffffd40/bffffed20 sysmgr
2319        0 0          0          0/0          mping-thread
2320        0 0          0          0/0          mping-thread
2336        0 0          0          0/0          stun_kthread
2337        0 0          0          0/0          stun_arp_mts_kt
2338        0 0          0          0/0          stun_packets_re
2373        0 0          0          0/0          redun_kthread
2374        0 0          0          0/0          redun_timer_kth
2513        0 0          0          0/0          sf_rdn_kthread
2514       364544 214619750    69095424    bffffa40/bffff8b0 xinetd
2515       421888 95819750     68964352    bffffa70/bffff8a0 tftpd
2516       23015424 125824371    106741760   bffffa40/bffff73c syslogd
2517       933888 109213561    74809344    bffffa80/bffffe850 sdwrapd
2519       4120576 0            81752064    bffffa70/bfff79e0 platform
2524        0 0          0          0/0          ls-notify-mts-t
2537       282624 92591910     74170368    bffffa70/bffffe058 pfm_dummy
2545       155648 0            1441792     bffffa60/bffff988 klogd
2552       2109440 393881241    78864384    bffffa80/bffff278 vshd
2553       1073152 95385382     76709888    bffffa80/bffffe4d0 stun
2554       2732032 367819865    144842752   bffffa30/bffff690 smm
2555       1155072 165002041    75182080    bffffa50/bffffe4b0 session-mgr
2556       479232 135244736    73154560    bffffa40/bffff770 psshelper
2557       212992 96888422     69488640    bffff9f0/bffffe680 lmgrd
2558       528384 91650240     73543680    bffffa60/bffff5f8 licmgr
2559       512000 92225126     78594048    bffffa90/bffff260 fs-daemon
2560       397312 85133312     72286208    bffffa60/bfff3690 feature-mgr
2561       315392 85106278     72122368    bffffa70/bffff840 confcheck
2562       958464 92785651     74874880    bffffa60/bffffe910 capability
2563       479232 135244736    73154560    bffffa20/bffff750 psshelper_gsvc
2573       217088 0            2572288     bffff9c0/bffff820 cisco
2576       7733248 664149376    106373120   bffffa30/bffff3e0 clis
2583       2248704 372636352    103321600   bffffa50/bffffd960 port-profile
2585       274432 85254963     72257536    bffffa60/bffff830 xmlma
2586       1245184 95083507     76578816    bffffa60/bffffe2dc vnm_pa_intf
2587       2146304 115889523    76902400    bffffa60/bffffe060 vmm
2588       708608 127975372    76795904    bffffa70/bffffe9c0 vdc_mgr
2589       634880 109440179    84406272    bffffaa0/bffff3c0 ttyd
2590       450560 78402579     70279168    bffffa70/bffff530 sysinfo

```

## show processes

```

2591 438272 91884531 73687040 bffffa80/bffff490 sksd
2593 610304 91614195 73551872 bffffa70/bffff234 res_mgr
2594 1028096 93695782 75186176 bffffa80/bffffe4b0 plugin
2595 3956736 375542464 94433280 bffffa50/bffff4f0 npacl
2596 811008 175709177 74731520 bffffa60/bffffb80 mvsh
2597 2596864 109250944 79581184 bffffa80/bffffcf70 module
2598 3489792 182622105 87179264 bffffa80/bffffd980 fwm
2599 1175552 100089228 81141760 bffffa60/bffffe490 evms
2600 1015808 93312806 74964992 bffffa60/bffffe4a0 evmc
2601 581632 92554035 84045824 bffffa90/bffff470 core-dmon
2602 454656 92722572 74289152 bffffa80/bffff3b0 bootvar
2603 9854976 367171059 93200384 bffffa60/bffff4c0 ascii-cfg
2604 647168 87422156 74403840 bffffa40/bffffe678 securityd
2605 1048576 98226585 84234240 bffffa60/bffffdce0 cert_enroll
2606 495616 87332044 75096064 bffffa60/bffffe850 aaa
2614 5029888 369338252 86528000 bffffa50/bffff960 l3vm
2615 4288512 366242905 106196992 bffffa50/bffff950 u6rib
2616 6340608 367112486 129155072 bffffa50/bffff8c0 urib
2617 1568768 139989132 77787136 bffffa70/bffffe680 ExceptionLog
2618 3047424 116793318 86609920 bffffa80/bffffe490 ifmgr
2619 806912 87336550 74678272 bffffa80/bffffe8c0 tcap
2623 5693440 262289420 137621504 bffffa10/bffffd8f0 snmpd
2636 163840 293819750 68661248 bffffa20/bffff018 PMon
2637 3104768 256175321 84361216 bffffa50/bffffe210 aclmgr
2662 9428992 373095923 151752704 bffffa50/bffff530 adjmgr
2676 4755456 366648409 128327680 bffffa50/bffff920 arp
2677 6037504 369130995 110952448 bffffa40/bffff2c8 icmpv6
2678 53452800 584746060 201703424 bffffa20/bffff490 netstack
2751 1368064 229098848 124534784 bffffa40/bffffdac0 radius
2752 233472 98996198 69996544 bffffa30/bffff8c8 ip_dummy
2753 233472 98996198 69996544 bffffa30/bffff8c8 ipv6_dummy
2754 1826816 165916537 126001152 bffffa50/bffffeb30 ntp
2755 233472 98996198 69996544 bffffa30/bffff8c8 pktmgr_dummy
2756 233472 98996198 69996544 bffffa30/bffff8c8 tcpudp_dummy
2758 1097728 202319744 126873600 bffffa60/bffffed90 cdp
2762 1024000 109019750 80056320 bffff990/bffffec90 dcos-xinetd
2764 729088 0 12656640 bffffef0/bffff220 ntpd
2881 1409024 113508736 83517440 bffffa80/bffffe0a0 vsim
2882 2785280 366824128 90828800 bffffa60/bffffdbb0 ufdm
2883 1273856 365913996 140460032 bffffa60/bffffd970 sal
2884 2342912 107612243 84082688 bffffa60/bffffd940 pltfm_config
2885 4083712 206235110 88436736 bffffa50/bffffd970 monitor
2886 3870720 317199308 90644480 bffffa50/bffffdf80 ipqosmgr
2887 7446528 504510195 132648960 bffffa50/bffff980 igmp
2888 5025792 186650112 89972736 bffffa40/bffffd8f0 eth-port-sec
2889 2170880 199314508 82145280 bffffa60/bffffe220 copp
2890 2453504 118573030 87961600 bffffa40/bffffd730 eth_port_channel
2891 8450048 156970739 94244864 bffffa50/bffffe990 vlan_mgr
2892 14442496 309585689 102936576 bffffa60/bffffdb40 ethpm
2933 1544192 204094950 85684224 bffffa60/bffffe480 msp
2936 1048576 93330828 74928128 bffffa50/bffffe480 vsn_service_mgr
2937 169234432 1191148288 251592704 bffffa60/bffffe48c sp
2938 10510336 651213798 103919616 bffffa40/bffffe89c policy_engine
2939 3485696 633948339 85774336 bffffa40/bffffe24c inspect
3006 159744 0 1441792 bffffdc0/bffffc58 getty
3007 172032 0 1527808 bffffd90/bffffc28 getty
3019 1142784 0 14630912 bffffa30/bffffe810 dcos_sshd
3021 1167360 0 31797248 bffffdc0/bffffaa0 vsh
28520 1142784 0 14630912 bffffa30/bffffe810 dcos_sshd
28521 1167360 0 31797248 bffffdc0/bffffa7c8 vsh
30327 155648 0 1712128 bffffcf0/bffffb4c more
30328 1167360 0 31830016 bffffdc0/bffffa2d8 vsh
30329 0 0 0 bffffa10/bffffef28 ps

```

```
All processes: MemAlloc = 445857792
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<code>show system resources</code>	メモリ使用量を表示します。

---

# show redundancy status

冗長性ステータスを表示するには、**show redundancy status** コマンドを使用します。

## show redundancy status

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show redundancy status** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、冗長ステータスを表示する例を示します。

```
vsg# show redundancy status
Redundancy role
-----
      administrative:  standalone
      operational:     standalone

Redundancy mode
-----
      administrative:  HA
      operational:     None

This supervisor (sup-1)
-----
      Redundancy state:  Active
      Supervisor state:  Active
      Internal state:    Active with no standby

Other supervisor (sup-2)
-----
      Redundancy state:  Not present
```

```
Supervisor state:  N/A
Internal state:   N/A

System start time:      Fri Jan 21 15:45:28 2013

System uptime:         32 days, 1 hours, 46 minutes, 2 seconds
Kernel uptime:        32 days, 0 hours, 14 minutes, 45 seconds
Active supervisor uptime: 32 days, 1 hours, 45 minutes, 20 seconds
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show system redundancy status</b>	システムの冗長性ステータスを表示します。

---

# show resource

リソースを表示するには、**show resource** コマンドを使用します。

```
show resource [internal | monitor-session | port-channel | u4route-mem | u6route-mem | vlan |
vrf ]
```

## 構文の説明

<b>internal</b>	(任意) リソース マネージャ情報を表示します。
<b>monitor-session</b>	(任意) モニタ セッション情報を表示します。
<b>port-channel</b>	(任意) ポート チャネル情報を表示します。
<b>u4route-mem</b>	(任意) u4route メモリ情報を表示します。
<b>u6route-mem</b>	(任意) u6route メモリ情報を表示します。
<b>vlan</b>	(任意) VLAN 情報を表示します。
<b>vrf</b>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show resource** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、リソースを表示する例を示します。

```
vsg# show resource
```

Resource	Min	Max	Used	Unused	Avail
vlan	16	2049	2	14	2047
monitor-session	0	2	0	0	2
vrf	16	8192	2	14	8190
port-channel	0	768	0	0	768
u4route-mem	32	32	1	31	31
u6route-mem	16	16	1	15	15

## 関連コマンド

コマンド	説明
<code>show system resources</code>	システム リソースを表示します。

# show role

ユーザ ロール情報を表示するには、**show role** コマンドを使用します。

**show role** [**feature** | **name** *role-name* | **pending** | **pending-diff** | **session** | **status**]

## 構文の説明

<b>feature</b>	(任意) ロール機能を表示します。
<b>name</b>	(任意) ロール名を表示します。
<i>role name</i>	ロールの名前。
<b>pending</b>	(任意) コミットされていないロールの設定を表示します。
<b>pending-diff</b>	(任意) コミットされていないロールの設定を表示します。
<b>session</b>	(任意) ロールのセッションのステータスを表示します。
<b>status</b>	(任意) ロールのステータスを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show role** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。



**例**

次に、ネットワーク管理者ロールの詳細を表示する例を示します。

```
vsg# show role name network-admin

Role: network-admin
Description: Predefined network admin role has access to all commands
on the switch
-----
Rule      Perm      Type      Scope      Entity
-----
1         permit   read-write
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
show users	ユーザを表示します。

# show running-config

実行コンフィギュレーションを表示するには、**show running-config** コマンドを使用します。

```
show running-config [aaa | diff | ip | port-profile | vlan | acllog | eem | ipqos | port-security | vrf |
aclmgr | exclude | ipv6 | radius | vservice | adjmgr | exclude-provision | l3vm | rpm | vshd |
all | expand-port-profile | license | security | arp | icmpv6 | monitor | cdp | igmp | network
| spanning-tree | cert-enroll | interface | ntp | vdc-all]
```

## 構文の説明

<b>aaa</b>	(任意) 認証、許可、アカウントिंग (AAA) 設定を表示します。
<b>aclmgr</b>	(任意) アクセス コントロール リスト (ACL) マネージャの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>adjmgr</b>	(任意) 隣接マネージャ情報を表示します。
<b>all</b>	(任意) 現在の動作設定を表示します。
<b>am</b>	(任意) アプリケーション マネジメント (AM) 情報を表示します。
<b>arp</b>	(任意) アドレス解決プロトコル (ARP) 情報を表示します。
<b>cdp</b>	(任意) Cisco Discovery Protocol (CDP) 設定を表示します。
<b>cert-enroll</b>	(任意) 証明書コンフィギュレーションを表示します。
<b>diff</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの差異を表示します。
<b>eem</b>	(任意) イベント マネージャの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>exclude</b>	(任意) 指定された機能の実行コンフィギュレーションを除外します。
<b>exclude-provision</b>	(任意) オフラインで事前プロビジョニングされたインターフェイスの設定を除外します。
<b>expand-port-profile</b>	(任意) ポート プロファイル情報を表示します。
<b>icmpv6</b>	(任意) インターネット制御メッセージプロトコル (ICMPv6) 情報を表示します。
<b>igmp</b>	(任意) インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) 情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイス設定を表示します。
<b>ip</b>	(任意) インターネット プロトコル (IP) 情報を表示します。
<b>ipqos</b>	(任意) IP Quality of Service (QoS) マネージャの実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 情報を表示します。
<b>l3vm</b>	(任意) レイヤ 3 仮想マシン (L3VM) 情報を表示します。
<b>license</b>	(任意) ライセンス設定を表示します。
<b>monitor</b>	(任意) イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) セッション情報を表示します。
<b>network</b>	(任意) ネットワーク情報を表示します。
<b>ntp</b>	(任意) ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 情報を表示します。
<b>port-profile</b>	(任意) ポート プロファイル設定を表示します。
<b>port-security</b>	(任意) ポート セキュリティ設定を表示します。
<b>radius</b>	(任意) リモート認証ダイヤルインユーザ サービス (RADIUS) 設定を表示します。
<b>rpm</b>	(任意) RPM 情報を表示します。
<b>security</b>	(任意) セキュリティ設定を表示します。

<b>spanning-tree</b>	(任意) スパニングツリー プロトコル情報を表示します。
<b>vdc-all</b>	(任意) すべての仮想デバイス コンテキスト (VDC) の設定を表示します。
<b>vlan</b>	(任意) 仮想ラージエリア ネットワーク (VLAN) の情報を表示します。
<b>vrf</b>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 情報を表示します。
<b>vshd</b>	(任意) 仮想共有ハードウェア デバイス (VSHD) の実行コンフィギュレーションを表示します。
<b>aclog</b>	aclog 情報を表示します。
<b>vservice</b>	仮想サービス ノードを表示します。

## ■ show running-config

デフォルト なし

コマンドモード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show running-config** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを入力したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

例 次に、実行コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
vsm-hpv# show running-config

!Command: show running-config
!Time: Sun May 5 20:04:22 2013

version 5.2(1)SM1(5.1)
svs switch edition essential

hostname VSM-hpv

no feature telnet
feature network-segmentation-manager

username admin password 5 $1$KxvwqWcb$8PqeCVrfY6QDy9nau.hBf. role network-admin

banner motd #Nexus 1000V Switch
#

ip domain-lookup
errdisable recovery cause failed-port-state
svs license volatile
vem 3
  host id 0F5A5036-A5BF-1244-896D-760C4E3AC29C
vem 4
  host id 1022F40A-D033-FB44-B228-6B48FBD14928
snmp-server user admin network-admin auth md5 0xda2d510adcc26f463fc5c476a19be55b priv
0xda2d510adcc26f463fc5c476a19be55b localizedkey
rmon event 1 log trap public description FATAL(1) owner PMON@FATAL
rmon event 2 log trap public description CRITICAL(2) owner PMON@CRITICAL
```

```
rmon event 3 log trap public description ERROR(3) owner PMON@ERROR
rmon event 4 log trap public description WARNING(4) owner PMON@WARNING
rmon event 5 log trap public description INFORMATION(5) owner PMON@INFO

vrf context management
  ip route 0.0.0.0/0 10.2.0.1
vlan 1,550-555,914

port-channel load-balance ethernet source-mac
port-profile default max-ports 32
port-profile default port-binding static
port-profile type vethernet NSM_template_vlan
  no shutdown
  guid 86ceec5b-7a9c-4df4-9218-333bfc6f40a5
  description NSM default port-profile for VLAN networks. Do not delete.
  state enabled
port-profile type vethernet NSM_template_segmentation
  no shutdown
  guid 4a6cf01d-80df-48b2-87d8-0b0a15e7d450
  description NSM default port-profile for VXLAN networks. Do not delete.
  state enabled
port-profile type ethernet Uplink
  no shutdown
  guid 2122b8d9-8d21-4fb3-9e75-971fbb1a266d
  max-ports 512
  state enabled
port-profile type ethernet uplink_network_default_policy
  no shutdown
  guid bf7bd8ce-9a90-4af2-98c9-d7f8bafa9cb2
  max-ports 512
  description NSM created profile. Do not delete.
  state enabled
port-profile type vethernet N1K
  no shutdown
  guid 70cff39e-9136-434c-8f36-f17e82210031
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet service
  no shutdown
  guid 6b9b60fd-4aff-40da-896c-7df7bc252908
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet ha
  no shutdown
  guid 7f598f09-68d6-47a3-97e0-158ce8558292
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet vnapd
  capability l3-vservice
  no shutdown
  guid d41c34d0-7c93-4fec-92ef-1f4383276b28
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet veth-1
  org root/Tenant-1
  vservice node VSG-138 profile SP11
  no shutdown
  guid 14fa09d3-6cf8-4c55-b7f5-ad0ae4e4c8bd
  state enabled
  publish port-profile
port-profile type vethernet veth-2
  org root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
  vservice node VSG-138 profile SP14
  no shutdown
```

## ■ show running-config

```

    guid 4be00543-2965-4d4e-be39-2f0ed5c606e6
    state enabled
    publish port-profile
port-profile type vethernet veth-3
  org root/Tenant-1/VDC-1/App-1/Tier-1
  vservice node VSG-N1010 profile SP11
  no shutdown
  guid 335f49a3-95e8-4c88-b078-7a5424f4537b
  state enabled
  publish port-profile

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show startup-config</b>	スタートアップ コンフィギュレーションを表示します。

# show service-path connection

サービスパスの接続情報を表示するには、**show service-path connection** コマンドを使用します。

**show service-path connection [svs-domain-id domain-id [module module-number]]**

## 構文の説明

<b>svs-domain-id</b>	(任意) SVS ドメインを表示します。
<b>domain-id</b>	ドメインの ID 番号。指定できる範囲は 1 ~ 4095 です。
<b>module</b>	(任意) モジュールを表示します。
<b>module-number</b>	モジュール番号。範囲は 3 ~ 66 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show service-path connection** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。



(注)

**show service-path connection** コマンドでは、リモートシェルトラフィックの **inspect-rsh** アクションが表示されない可能性があります。この問題は表示だけに影響を与え、トラフィックポリシーの決定を中断しません。

## 例

次に、サービスパスの接続を表示する例を示します。

```
vsg# show service-path connection
Flags:
P - policy at src                p - policy at dst
O - conn offloaded to ser-path at src  o - conn offloaded to ser-path at dst
S - seen syn from src            s - seen syn from dst
A - seen ack for syn/fin from src     a - seen ack for syn/fin from dst
F - seen fin from src            f - seen fin from dst
R - seen rst from src            r - seen rst from dst
E - tcp conn established (SasA done)  T - tcp conn torn down (FafA done)
```

## ■ show service-path connection

```
#SVS Domain 3720 Module 5
Proto SrcIP[:Port]      DstIP[:Port]      VLAN Action  Flags
tcp 172.31.2.206:2677    172.31.2.106:80   PpOoSas
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show sv</b>	SVS 情報を表示します。



# show service-path statistics

サービスパスの統計情報を表示するには、**show service-path statistics** コマンドを使用します。

**show service-path statistics [svs-domain-id domain-id [module module-number]]**

## 構文の説明

<b>svs-domain-id</b>	(任意) SVS ドメインを表示します。
<b>domain-id</b>	ドメインの ID 番号。指定できる範囲は 1 ~ 4095 です。
<b>module</b>	(任意) モジュールを表示します。
<b>module-number</b>	モジュール番号。範囲は 3 ~ 66 です。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show service-path statistics** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、サービスパスの統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show service-path statistics
Input Packet          9130015  Output Packet          879012
Active Flows          17      Active Connections     12
Flow Create          36696   Flow Destroy           36679
Input Packet Drop    0       Output Packet Drop     0
SP Packet Drop       0       Corrupted Packet       0
Input mode           Signal   Input mode change fail 0
Input signal mode    1       Input interrupt mode   0
PE Corrupted Packet  0       FTP Corrupted Packet   0
RSH Corrupted Packet 0       TFTP Corrupted Packet  0
Buffer Free Fail     0
Vpath Frag Packet    8249047 Vpath Inst Frag        0
IPV4 Frag Packet     850338  IPV4 Inst Frag         0
Aged Vpath Frag Packet 0       Vpath Frag Packet Drop 0
Aged IPV4 Frag Packet 10      IPV4 Frag Packet Drop  0
```

## ■ show service-path statistics

```

Bad Vpath Frag                0  Bad IPV4 Frag                0
Vpath Frag/Packet Exceed     0  IPV4 Frag/Packet Exceed       0
Total Frag Inst Exceed       0
Non-Vpath Packet             0  Vpath Ver Mismatch Packet     0

SVS Domain    15  Module    3
  Input Packet                20957  Output Packet                19328
  Flow Create                 28856  Flow Destroy                 28848
  Packet Drop                  0

SVS Domain    15  Module    4
  Input Packet                9109058  Output Packet                859684
  Flow Create                  7840  Flow Destroy                  7831
  Packet Drop                  0

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show svcs	SVS 情報を表示します。

# show sockets

ソケット情報を表示するには、**show sockets** コマンドを使用します。

**show sockets {client | connection | internal | statistics}**

## 構文の説明

<b>client</b>	クライアントのソケット情報を表示します。
<b>connection</b>	ソケット接続に関する情報を表示します。
<b>internal</b>	内部ソケット情報を表示します。
<b>statistics</b>	ソケット統計情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show sockets** コマンドで次の演算子を使用できます。

- >: 出力をファイルにリダイレクトします。
- >>: 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- |: コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ソケットの統計情報を表示する例を示します。

```
vsg# show sockets statistics
TCP Received:
  43556 packets total
  0 checksum error, 0 bad offset, 0 too short, 0 MD5 error
  33557 packets (1428824 bytes) in sequence
  435 duplicate packets (8296 bytes)
  0 partially dup packets (0 bytes)
  141 out-of-order packets (7736 bytes)
  0 packets (0 bytes) with data after window
  1 packets after close
  0 window probe packets, 0 window update packets
  470 duplicate ack packets, 0 ack packets with unsent data
  17669 ack packets (1759693 bytes)
TCP Sent:
  20950 total, 0 urgent packets
```

## ■ show sockets

```

20 control packets
20057 data packets (1759592 bytes)
5 data packets (736 bytes) retransmitted
809 ack only packets
0 window probe packets, 59 window update packets

TCP:
0 connections initiated, 129 connections accepted, 129 connections established
129 connections closed (including 107 dropped, 0 embryonic dropped)
4 total rxmt timeout, 0 connections dropped in rxmt timeout
40 keepalive timeout, 40 keepalive probe, 0 connections dropped in keepalive

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show interface</b>	インターフェイスに関する情報を表示します。

# show ssh

セキュア シェル (SSH) の情報を表示するには、**show ssh** コマンドを使用します。

```
show ssh {key | name | server}
```

## 構文の説明

<b>key</b>	SSH キーを表示します。
<b>name</b>	あらかじめ確立されているマスター SSH 接続を表示します。
<b>server</b>	サーバの SSH の状態を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show ssh** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、SSH キーを表示する例を示します。

```
vsg# show ssh key
*****
rsa Keys generated:Fri May 8 16:49:02 2013

ssh-rsa AAAAB3NzaC1yc2EAAAABIwAAAQEAtL6+T2oK41T1ed1Xus/eY6FChVxGdDA1T9B3pC06MWst
6+Wh4Sw3Ibpoe2uIuZE9qZj1nKLMWkReulolXLCJ1GG3QjkVUA2CMLYP6o/+fUoMZIPSyQFQk+3JwTFu
UR7uaa6OkATAr35unSnaHPKkYyv7C2S+I/H2nilY+Gbnvcv9D2tjjsFJIOMIeIa8w5EdedMSnxOYg9ynm
9rV+Jql48mvs1AKo23eSkzJT2grZu6z3d8DboiEHvrkPR/8Dwum9BXX7pM9p48l3Dae5lRuW92H/wRqs
v0u6Cyex6c6uE2f3jo4yU4tOMTCbyu2O+lXz/AsmM+gUZ1CvxrHhJgHpqw==

bitcount:2048
fingerprint:
1d:1f:75:3c:6b:41:32:c8:0a:87:40:56:10:cb:2b:e9
*****
could not retrieve dsa key information
*****
```

■ show ssh

## 関連コマンド

コマンド	説明
show telnet	Telnet サーバの設定を表示します。

# show startup-config

スタートアップ コンフィギュレーションを表示するには、**show startup-config** コマンドを使用します。

```
show startup-config [aaa | am | arp | cdp | cert-enroll | exclude | expand-port-profile | icmpv6 |
igmp | interface | ip | l3vm | log | monitor | ntp | security | vdc-all | vshd]
```

## 構文の説明

<b>aaa</b>	(任意) 認証、許可、アカウントिंग (AAA) 設定を表示します。
<b>am</b>	(任意) AM の情報を表示します。
<b>arp</b>	(任意) アドレス解決プロトコル (ARP) 情報を表示します。
<b>cdp</b>	(任意) Cisco Discovery Protocol (CDP) 設定を表示します。
<b>cert-enroll</b>	(任意) 証明書の設定を表示します。
<b>diff</b>	(任意) 実行コンフィギュレーションとスタートアップ コンフィギュレーションの違いを表示します。
<b>expand-port-profile</b>	(任意) ポート プロファイルを表示します。
<b>icmpv6</b>	(任意) インターネット制御メッセージプロトコルバージョン 6 (ICMPv6) 情報を表示します。
<b>igmp</b>	(任意) インターネット グループ管理プロトコル (IGMP) 情報を表示します。
<b>interface</b>	(任意) インターフェイス設定を表示します。
<b>ip</b>	(任意) IP の情報を表示します。
<b>l3vm</b>	(任意) レイヤ 3 仮想マシン情報を表示します。
<b>log</b>	(任意) 最新の ASCII スタートアップ コンフィギュレーションの実行ログを表示します。
<b>monitor</b>	(任意) イーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) セッションを表示します。
<b>ntp</b>	(任意) ネットワーク タイム プロトコル (NTP) 情報を表示します。
<b>security</b>	(任意) セキュリティ コンフィギュレーションを表示します。
<b>vdc-all</b>	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) の設定を表示します。
<b>vshd</b>	(任意) VSHD の実行コンフィギュレーションを表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## ■ show startup-config

## 使用上のガイドライン

**show startup-config** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、スタートアップ コンフィギュレーションを表示する例を示します。

```
vsg# show startup-config
Sap 106 returned failure code:0x80480002

!Command: show startup-config
!Time: Wed Feb 23 12:52:55 2013
!Startup config saved at: Tue Apr 30 19:23:55 2013

version 5.2.1VSG1(4.1)
ip domain-lookup
ip domain-lookup
switchname VSG129-2
snmp-server user admin auth md5 0x49381b1f90fcb52a70b55a0bbf05d032 priv 0x49381b1f90fcb52a70b55a0bbf05d032 localizedkey engineID 128:0:0:9:3:0:0:0:0:0
snmp-server user vsnbetauser auth md5 0x272e8099cab7365fd1649d351b953884 priv 0x272e8099cab7365fd1649d351b953884 localizedkey engineID 128:0:0:9:3:0:0:0:0:0

vrf context management
  ip route 0.0.0.0/0 10.193.72.1
vlan 1
port-channel load-balance ethernet source-mac
port-profile default max-ports 32

vdc VSG129-2 id 1
  limit-resource vlan minimum 16 maximum 2049
  limit-resource monitor-session minimum 0 maximum 2
  limit-resource vrf minimum 16 maximum 8192
  limit-resource port-channel minimum 0 maximum 768
  limit-resource u4route-mem minimum 32 maximum 32
  limit-resource u6route-mem minimum 16 maximum 16
  limit-resource m4route-mem minimum 58 maximum 58
  limit-resource m6route-mem minimum 8 maximum 8

interface mgmt0
  ip address 10.193.73.138/21

interface data0
  ip address 192.168.129.2/24
  ip address 192.168.129.2/24

interface data0
  ip address 192.168.129.2/24
  ip address 192.168.129.2/24
line console
boot kickstart bootflash:/ks.bin sup-1
boot system bootflash:/sys.bin sup-1
boot kickstart bootflash:/ks.bin sup-2
boot system bootflash:/sys.bin sup-2
  ha-pair id 1292

security-profile sp1
  policy pl
rule r1
  action 1 permit
```



```
policy p1
  rule r1 order 10
vnm-policy-agent
  registration-ip 0.0.0.0
  shared-secret *****
  log-level
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show running-config</b>	実行コンフィギュレーションを表示します。

---

# show system

システム情報を表示するには、**show system** コマンドを使用します。

```
show ssh {clis | cores | error-id | exception-info | internal | pss | redundancy | resources | standby
| uptime}
```

## 構文の説明 i

<b>clis</b>	コマンドライン インターフェイス (CLI) サーバを表示します。
<b>cores</b>	コア転送オプションを表示します。
<b>error-id</b>	システム エラーを表示します。
<b>exception-info</b>	例外ログを表示します。
<b>internal</b>	内部システム情報を表示します。
<b>pss</b>	最新の PSS 縮小ステータスを表示します。
<b>redundancy</b>	冗長性ステータスを表示します。
<b>resources</b>	システム リソースを表示します。
<b>standby</b>	システム スタンバイの手動ブート オプションを表示します。
<b>uptime</b>	システムが起動して動作している時間を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show system** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

---

**例**

次に、システム リソースを表示する例を示します。

```
vsg# show system resources
Load average:  1 minute: 0.22   5 minutes: 0.28   15 minutes: 0.12
Processes   :  245 total, 2 running
CPU states  :  0.0% user,   0.0% kernel,  100.0% idle
Memory usage: 1944668K total,  1041116K used,   903552K free
              71456K buffers,  398416K cache
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show hardware</b>	ハードウェア情報を表示します。

---

# show tech-support

テクニカル サポートの情報を表示するには、**show tech-support** コマンドを使用します。

```
show tech-support [adjmgr | arp | bootvar | brief | cert-enroll | cli | clis | details | dhcp | epp |
ethport | ha | icmpv6 | im | include-time | internal | ip | ipv6 | l3vm | module | npacl | ntp |
pktmgr | platform | port | port-channel | routing | sockets | sys-mgr | time-optimized | vdc |
vsd | xml]
```

## 構文の説明

<b>adjmgr</b>	(任意) 隣接マネージャ情報を表示します。
<b>arp</b>	(任意) アドレス解決プロトコル (ARP) 情報を表示します。
<b>bootvar</b>	(任意) ブート変数に関する詳細情報を表示します。
<b>brief</b>	(任意) システムのサマリーを表示します。
<b>cert-enroll</b>	(任意) 証明書情報を表示します。
<b>cli</b>	(任意) パーサーに関する情報を表示します。
<b>clis</b>	(任意) コマンドライン インターフェイス (CLI) サーバに関する情報を表示します。
<b>details</b>	(任意) トラブルシューティングの詳細情報を表示します。
<b>dhcp</b>	(任意) ダイナミック ホスト コンフィギュレーション プロトコル (DHCP) に関する詳細情報を表示します。
<b>epp</b>	(任意) EPP に関する詳細情報を表示します。
<b>ethport</b>	(任意) イーサネット ポートに関する詳細情報を表示します。
<b>ha</b>	(任意) 高可用性 (HA) に関する詳細情報を表示します。
<b>icmpv6</b>	(任意) ICMPv6 に関する情報を表示します。
<b>im</b>	(任意) IM に関する詳細情報を表示します。
<b>include-time</b>	(任意) テクニカル サポート情報の収集にかかった時間を表示します。
<b>internal</b>	(任意) 内部トラブルシューティング情報を表示します。
<b>ip</b>	(任意) IP の情報を表示します。
<b>ipv6</b>	(任意) IPv6 情報を表示します。
<b>l3vm</b>	(任意) 仮想ルーティングおよび転送 (VRF) 情報を表示します。
<b>module</b>	(任意) モジュールに関する情報を表示します。
<b>npacl</b>	(任意) NPACL に関する情報を表示します。
<b>ntp</b>	(任意) ネットワーク タイム プロトコル (NTP) に関する情報を表示します。
<b>pktmgr</b>	(任意) パケット マネージャ情報を表示します。
<b>platform</b>	(任意) プラットフォーム情報を表示します。
<b>port</b>	(任意) ポート マネージャ情報を表示します。
<b>port-channel</b>	(任意) ポート チャネル情報を表示します。
<b>routing</b>	(任意) ルーティングに関する情報を表示します。
<b>sockets</b>	(任意) ソケットに関する情報を表示します。
<b>sys-mgr</b>	(任意) システム マネージャに関する情報を表示します。
<b>time-optimized</b>	(任意) テクニカル サポートを迅速に収集します。
<b>vdc</b>	(任意) 仮想デバイス コンテキスト (VDC) に関する情報を表示します。
<b>vsd</b>	(任意) VSD に関する情報を表示します。
<b>xml</b>	(任意) XML に関する情報を表示します。

デフォルト なし

コマンドモード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show tech-support** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

データの長いリストを表示する **show** コマンドを実行したときに、**Ctrl** キーを押した状態で **C** キーを押すと、どの時点でもそのリストを終了できます。

**例** 次に、HA 情報を表示する例を示します。

```
VSG129-2# show tech-support ha
`show system internal sysmgr event-history msgs`
1) Event:E_MTS_RX, length:60, at 12198 usecs after Thu Feb 24 11:38:48 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SDWRAP_DEBUG_DUMP(1530), Id:0X02ECF618, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39469, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF618, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:216
   Payload:
   0x0000: 01 00 2f 74 6d 70 2f 64 62 67 64 75 6d 70 31 32

2) Event:E_MTS_RX, length:44, at 952704 usecs after Thu Feb 24 11:38:47 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_ENNVAR_NON_SYSMGR_SRV_GET(2653), Id:0X02ECF601, Ret
   :SUCCESS
   Src:0x00000101/39467, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF601, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0

3) Event:E_MTS_RX, length:44, at 504521 usecs after Thu Feb 24 11:38:39 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_ENNVAR_NON_SYSMGR_SRV_GET(2653), Id:0X02ECF494, Ret
   :SUCCESS
   Src:0x00000101/39441, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF494, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0

4) Event:E_MTS_RX, length:60, at 824041 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_INTERNAL_STATE(1386), Id:0X02ECF0FB, Ret:S
   UCCCESS
   Src:0x00000101/39438, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0FB, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:624
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 02 00 00 00 00 00 00 00 00
```

```

5) Event:E_MTS_RX, length:60, at 823997 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_REDUNDANCY_STATUS(2499), Id:0X02ECF0F9, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39438, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0F9, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:112
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
6) Event:E_MTS_RX, length:44, at 823918 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_SCOPE_DONE(2476), Id:0X02ECF0F7, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39438, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0F7, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0
7) Event:E_MTS_RX, length:60, at 819079 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_INTERNAL_STATE(1386), Id:0X02ECF0F5, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39437, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0F5, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:624
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00
8) Event:E_MTS_RX, length:60, at 819034 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_REDUNDANCY_STATUS(2499), Id:0X02ECF0F3, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39437, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0F3, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:112
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
9) Event:E_MTS_RX, length:44, at 818960 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_SCOPE_DONE(2476), Id:0X02ECF0F1, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39437, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0F1, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0
10) Event:E_MTS_RX, length:60, at 814417 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_INTERNAL_STATE(1386), Id:0X02ECF0EF, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39436, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0EF, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:624
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 02 00 00 00 00 00 00 00 00 00
11) Event:E_MTS_RX, length:60, at 814364 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_CLI_SHOW_REDUNDANCY_STATUS(2499), Id:0X02ECF0ED, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39436, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0ED, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:112
   Payload:
   0x0000: 00 00 00 01 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
12) Event:E_MTS_RX, length:44, at 814283 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_SCOPE_DONE(2476), Id:0X02ECF0EB, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39436, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0EB, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0
13) Event:E_MTS_RX, length:44, at 800624 usecs after Thu Feb 24 11:38:18 2013
   [REQ] Opc:MTS_OPC_SYSMGR_ENNVAR_NON_SYSMGR_SRV_GET(2653), Id:0X02ECF0D3, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/39435, Dst:0x00000101/3, Flags:None
   HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECF0D3, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:0
14) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37941 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
   [RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAC3, Ret:SUCCESS
   Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None

```

```
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA4B, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

15) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37931 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAC2, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA4A, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

16) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37921 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAC1, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA49, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

17) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37910 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAC0, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA48, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

18) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37900 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABF, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA47, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

19) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37890 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABE, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA46, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

20) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37880 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABD, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA45, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

21) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37870 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABC, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA44, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

22) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37860 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABB, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA43, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000: 00 00 00 00

23) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37850 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEABA, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA42, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
```

## ■ show tech-support

```

Payload:
0x0000:  00 00 00 00

24) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37840 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAB9, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA41, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000:  00 00 00 00

25) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37830 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAB8, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA40, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000:  00 00 00 00

26) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37820 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAB7, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA3F, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000:  00 00 00 00

27) Event:E_MTS_RX, length:48, at 37808 usecs after Thu Feb 24 11:37:00 2013
[RSP] Opc:MTS_OPC_EEM_CFG_SYNC(1701), Id:0X02ECEAB6, Ret:SUCCESS
Src:0x00000101/342, Dst:0x00000101/3, Flags:None
HA_SEQNO:0X00000000, RRtoken:0x02ECEA3E, Sync:UNKNOWN, Payloadsize:4
Payload:
0x0000:  00 00 00 00

```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show debug	デバッグ フラグを表示します。



# show telnet server

Telnet サービスの状態を表示するには、**show telnet server** コマンドを使用します。

## show telnet server

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show telnet server** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、Telnet サービスの状態を表示する例を示します。

```
vsg# show telnet server
telnet service not enabled
vsg#
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
show http	HTTP サービスの状態を表示します。

# show terminal

端末に関する情報を表示するには、**show terminal** コマンドを使用します。

**show terminal [internal]**

構文の説明	<b>internal</b>	(任意) 内部端末情報を表示します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC グローバル コンフィギュレーション (config)	
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ	
コマンド履歴	<b>リリース</b>	<b>変更内容</b>
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show terminal** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、端末に関する情報を表示する例を示します。

```
VSG129-2# show terminal internal
Process info:
Name:    vsh
State:   R (running)
SleepAVG:      88%
Tgid:    4157
Pid:     4157
PPid:    4156
TracerPid:    0
Uid:     2002   2002   2002   2002
Gid:     503   503   503   503
FDSize:  256
Groups:  503
VmSize:   31080 kB
VmLck:    0 kB
VmRSS:    9208 kB
VmData:   1140 kB
VmStk:    84 kB
VmExe:    44 kB
VmLib:   13664 kB
```

```

VmPTE:          48 kB
Threads:        1
SigPnd: 0000000000000000
ShdPnd: 0000000000000000
SigBlk: 0000001000000000
SigIgn: 0000000000300004
SigCgt: 0000000180007002
CapInh: 0000000000000000
CapPrm: 0000000000000000
CapEff: 0000000000000000

Memory limits:
core file size      (blocks, -c) 146484
data seg size      (kbytes, -d) unlimited
file size          (blocks, -f) unlimited
max locked memory  (kbytes, -l) unlimited
max memory size    (kbytes, -m) unlimited
open files         (-n) 1024
pipe size          (512 bytes, -p) 8
stack size         (kbytes, -s) 8192
cpu time           (seconds, -t) unlimited
max user processes (-u) unlimited
virtual memory     (kbytes, -v) 204800

```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show processes</b>	プロセス情報を表示します。

---

# show user-account

ユーザ アカウントに関する情報を表示するには、**show user-account** コマンドを使用します。

**show user-account** [*user-account-name*]

## 構文の説明

*user-account-name* (任意) ユーザ アカウント名。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show user-account** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ユーザ アカウントを表示する例を示します。

```
vsg# show user-account
user:adminbackup
    this user account has no expiry date
    roles:
user:admin
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
user:vsnbetauser
    this user account has no expiry date
    roles:network-admin
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show users	現在のユーザを表示します。

# show users

ユーザを表示するには、**show users** コマンドを使用します。

## show users

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show users** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、ユーザを表示する例を示します。

```
vsg# show users
NAME      LINE      TIME          IDLE          PID COMMENT
admin     pts/0     Jan 21 17:19  old          3021 (171.69.17.61) session=ssh
admin     pts/29    Feb 23 11:13  .             4157 (10.21.145.11) session = ssh *
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show user-account</b>	ユーザ アカウントに関する情報を表示します。

# show version

ソフトウェア バージョンを表示するには、**show version** コマンドを使用します。

**show version** [**build-info** | **image** | **internal**]

## 構文の説明

<b>build-info</b>	(任意) ソフトウェアのビルド情報を表示します。
<b>image</b>	(任意) ソフトウェア イメージ情報を表示します。
<b>internal</b>	(任意) 2つのイメージ間のソフトウェア互換性の結果を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show version** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ソフトウェアのビルド情報を表示する例を示します。

```
vsg# show version build-info
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show install</b>	2つのイメージ間のソフトウェア インストールが及ぼす影響を表示します。

# show vnm-pa

Virtual Network Management Center (VNMC) ポリシー エージェントを表示するには、**show vnm-pa** コマンドを使用します。

**show vnm-pa [status | tech-support]**

## 構文の説明

<b>status</b>	(任意) ポリシー エージェントの状態を表示します。
<b>tech-support</b>	(任意) テクニカル サポート情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show vnm-pa** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

## 例

次に、ポリシー エージェントの状態を表示する例を示します。

```
vsg# show vnm-pa status
VNM Policy-Agent status is - Not Installed
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vsg</b>	Cisco VSG の情報を表示します。

# show vsg dvport

Cisco VSG DV ポートに関する情報を表示するには、**show vsg dvport** コマンドを使用します。

**show vsg dvport** [*port-name*]

構文の説明	<i>port-name</i>	(任意) DV ポート名です。
-------	------------------	-----------------

デフォルト	なし	
-------	----	--

コマンドモード	EXEC	グローバル コンフィギュレーション (config)
---------	------	----------------------------

サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者	ネットワーク オペレータ
---------------	-----------	--------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

**使用上のガイドライン** **show vsg dvport** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**例** 次に、DV ポートに関する情報を表示する例を示します。

```
vsg# show vsg dvport
DV Port      : 576::bcaa1c50-8747-8d08-fe7e-a9aa8924bf8e
Security Profile : spcustom
VM uuid     : 421c5ae4-51c3-5dd9-60fa-a50cb04ed0ea
Port Profile : vm_data
IP Addresses :
  100.1.1.20
  100.1.1.10
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show vsg ip-binding</b>	IP バインディングに関する情報を表示します。



# show vsg ip-binding

仮想マシン (VM) IP アドレスのリストと関連の仮想ネットワークのセキュリティ プロファイル (VNSP) およびポリシー セットを表示するには、**show vsg ip-binding** コマンドを使用します。

## show vsg ip-binding

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク 管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show vsg ip-binding** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、VM の IP アドレスのリストを表示する例を示します。

```
vsg# show vsg ip-binding
```

```
-----
VM IP address      Security-Profile Name      Policy Name
-----
100.1.1.20         spcustom                   policy_one
100.1.1.10         sp_new                     policy_one
-----
```

### 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vsg security-profile</b>	セキュリティ プロファイルに関する情報を表示します。

# show vsg security-profile

セキュリティ プロファイルに関する情報を表示するには、**show vsg security-profile** コマンドを使用します。

**show vsg security-profile** [*vnspp-name* | **detail** | **table**]

## 構文の説明

<i>vnspp-name</i>	(任意) 仮想ネットワークのセキュリティ プロファイル (VNSP) 名。
<b>detail</b>	(任意) Cisco VSG のセキュリティ プロファイルの詳細を表示します。
<b>table</b>	(任意) セキュリティ プロファイル情報を表示します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者  
ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show vsg security-profile** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

**show vsg security-profile** コマンドの詳細バージョンには、セキュリティ プロファイル情報に加えてセキュリティ プロファイルを使用している仮想マシン (VM) の名前が含まれます。VNSP 名は特定のセキュリティ プロファイルの詳細を取得するように指定できます。

## 例

次に、セキュリティ プロファイル `sp_deny@root` に関する詳細情報を表示する例を示します。

```
vsg# show vsg security-profile sp_deny@root detail
VNSP          : sp_deny@root
VNSP id       : 5
Policy Name   : ps_deny@root
Policy id     : 3
Custom attributes :
  Name        : vnsporg
  Value       : root
  Name        : profile1
  Value       : eng

Virtual Machines:
```

```
sg-pg-vm206  
sg-pg-redhat
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show policy stats</b>	ポリシー統計情報を表示します。

---

# show vsg vm

仮想マシン (VM) に関する情報を表示するには、**show vsg vm** コマンドを使用します。

## show vsg vm

### 構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

### デフォルト

なし

### コマンドモード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

### サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

### コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

### 使用上のガイドライン

**show vsg vm** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

### 例

次に、Cisco VSG VM の情報を表示する例を示します。

```
vsn22# show vsg vm
VM uuid          : 421c5ae4-51c3-5dd9-60fa-a50cb04ed0ea
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show vsg	Cisco VSG の情報を表示します。

# show vsg vm name

仮想マシン (VM) に関する名前情報を表示するには、**show vsg vm name** コマンドを使用します。

**show vsg vm name name**

構文の説明	<i>name</i>	Cisco VSG のネットワークの VM の名前または名前の一部。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC	グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 使用上のガイドライン

**show vsg vm name** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンドモードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

このコマンドは、1 つ以上の仮想マシン (VM) の情報を表示します。VM 名はパラメータとして指定する必要があります。また、プレフィックス (最初の数文字) または全体の名前を指定できます。VM の情報には VM によって使用される各 DV ポートおよび VM が属するゾーンの詳細が含まれます。

## 例

次に、名前 Linux 204 の Cisco VSG VM の情報を表示する例を示します。

```
vsg# show vsg vm name linux-204
VM uuid          : 421ceac2-3b3f-67f9-b71c-3755d2c8cabe
DV Port(s)      :
  DV Port        : 272::1c7b1c50-f1b7-9a71-259d-820f4713a4b1
  Security Profile : SP-DC1@root/Cisco-Tenant1
  Port Profile    : profile_App2
  IP Addresses    :
    20.100.201.184
  DV Port        : 240::1c7b1c50-f1b7-9a71-259d-820f4713a4b1
  Security Profile : SP-App1@root/Cisco-Tenant1
  Port Profile    : profile_App1
  IP Addresses    :
    10.100.201.184
Zone(s)         :
  zone_linux_204@root/Cisco-Tenant1
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
show vsg	Cisco VSG の情報を表示します。

# show vsg vm uuid

Cisco VSG の仮想マシン UUID を表示するには、**show vsg vm uuid** コマンドを使用します。

**show vsg vm uuid *uuid***

構文の説明	<i>uuid</i>	UUID の名前を指定します。
デフォルト	なし	
コマンドモード	EXEC	グローバル コンフィギュレーション (config)
サポートされるユーザロール	ネットワーク管理者 ネットワーク オペレータ	
コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2(1)VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。
使用上のガイドライン	このコマンドは、パラメータとして VM UUID が必要です。指定した VM の情報が表示されます。	
例	次に、Cisco VSG の UUID 情報を表示する例を示します。 vsg# <b>show vsg vm uuid 421cefd6-29d1-4c8e-e563-2c3a4d58cd31</b> VM uuid : 421cefd6-29d1-4c8e-e563-2c3a4d58cd31	
関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show vsg</b>	Cisco VSG の情報を表示します。



# show vsg zone

Cisco VSG ゾーンを表示するには、**show vsg zone** コマンドを使用します。

**show vsg zone**

## 構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

EXEC

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザロール

ネットワーク管理者

ネットワーク オペレータ

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.2(1)VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

## 例

次に、Cisco VSG ゾーンを表示する例を示します。

```
vsg(config-vnm-policy-agent)# show vsg zone
Zone : centos5.3_2_VEM2@root/tenant_d3337/dc1
Virtual Machines :
    centos5.3_2_vem2
-----
Zone : tenant_3337_zonename1@root/tenant_d3337
Virtual Machines :
-----
Zone : deletetest@root/tenant_d3337
Virtual Machines :
    centos5.3_1
    centos5.3_vlan100
    centos5.3_2_vem2
    centos5.3_2_vem1
    win2003entr2-32_vlan150_100_split
    centos5.2
    centos5.3_1_vem2
    centos5.3_3_vem1_clone
    centos5.3_3_vem2_clone
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show vsg</b>	Cisco VSG の情報を表示します。

# show xml server

XML サーバ情報を表示するには、**show xml server** コマンドを使用します。

**show xml server [logging | status]**

構文の説明	logging	(任意) ログイング コンフィギュレーションとログ ファイルの内容を表示します。
	status	(任意) XML エージェント情報を表示します。

デフォルト なし

コマンド モード EXEC  
グローバル コンフィギュレーション (config)

サポートされるユーザロール ネットワーク 管理者  
ネットワーク オペレータ

コマンド履歴	リリース	変更内容
	5.2.1VSG1(4.1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン **show xml server** コマンドで次の演算子を使用できます。

- > : 出力をファイルにリダイレクトします。
- >> : 出力をファイルに、アペンド モードでリダイレクトします。
- | : コマンドの出力をフィルタにパイプ出力します。

例 次に、XML サーバ情報を表示する例を示します。

```
vsg# show xml server status
operational status is enabled
maximum session configured is 8
```

関連コマンド	コマンド	説明
	show http-server	HTTP サーバの設定を表示します。